

オイルレベルゲージ 取扱説明書

| | |
|------|-------------------|
| 製品番号 | 07-07-0111 (シルバー) |
| | 07-07-0112 (ブラック) |
| | 07-07-0113 (ブルー) |
| | 07-07-0114 (レッド) |

| | |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 適応車種 | スーパーカブ 50 (AA04・AA09) |
| | スーパーカブ 50 プロ (AA07) |
| | スーパーカブ 110 (JA07・JA10・JA44・JA59) |
| | スーパーカブ 110 プロ (JA07・JA10・JA42・JA61) |
| | クロスカブ (JA10) |
| | クロスカブ 50 (AA06) |
| クロスカブ 110 (JA45・JA60) | |

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

～特徴～

- ノーマルと付け替えるだけでドレスアップ出来るオイルレベルゲージです。
- 手狭な場所でも回し易い形状のデザインとし、アルマイトカラーが際立ちます。カラーバリエーションは4色で、お好みのコーディネートが楽しめます。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 製品やフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護し、注意して行って下さい。(ケガの原因となります。)
- 取り付け作業は、必ずエンジン及びマフラーの冷間時(35℃以下)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 走行前は、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み等が無いか確認して下さい。(部品の脱落の原因となります。)

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

製品内容



| 番号 | 部品名 | 数量 | リペア品番 |
|----|-----------|----|----------------------|
| 1 | オイルレベルゲージ | 1 | |
| 2 | Oリング | 1 | 00-00-0093 (2ヶ入り) |

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいますようお願い致します。

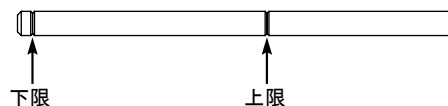
■取り付け要領

※特に記載の無い細部の取り付け方や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

1. Oリングをオイルレベルゲージのネジ部の根元部分に取り付けます。
2. ノーマルのオイルレベルゲージを外し、オイル注入口に弊社オイルレベルゲージを確実に取り付けます。

エンジンオイル量の点検

1. 平坦地でエンジンを2～3分間アイドリングさせます。
2. エンジン停止2～3分後にオイルレベルゲージを外します。※エンジン停止直後はエンジン本体、マフラーやエキゾーストパイプ等が熱くなっています。火傷に注意して下さい。
3. 布等でオイルレベルゲージに付いたオイルを拭き取ります。
4. 車体を垂直にして、オイルレベルゲージをねじ込まず差し込みます。オイルがオイルレベルゲージの上限と下限の間にあることを確認します。



5. オイル量が下限に近ければ、オイル注入口より上限まで補充します。※補充するときに、オイル注入口からごみ等が入らないようにして下さい。また、オイルをこぼした時は完全に拭き取って下さい。
6. オイルレベルゲージを確実に取り付けます。